

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業の実施状況及び効果検証について

No	交付対象事業の名称	所管課	事業実施状況				効果検証			
			事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	総事業費 (円)	交付金 充当額 (円)	効果の測定方法	事業の効果（成果）	効果の検証結果（評価）
1	新型コロナウイルス感染症対策事業	総務財政課	①新型コロナウイルス感染予防に資する物品の購入 ②アルコール消毒液、消毒ポンプ、フェイスシールド、非接触型体温計、飛沫防止用アクリルパーテーション ③公共施設	R3.5.20	R4.3.31	263,610	263,610	□アンケート □聞き取り調査 () ■その他の方法 (感染状況等)	コロナの対策設備を導入することで、役場庁舎内でのクラスターも発生することなく適正な行政運営が実施できた。	役場庁舎内での感染者はなく通常どおりの行政運営が出来たため、事業実施効果があった。
2	保健福祉施設感染予防環境整備事業	保健福祉課	①新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえつつも、保健福祉事業等の活動再開を図るため、参加者のソーシャルディスタンスを保ちながら、三世代交流室や研修室使用に際し各種事業を開催することで保健福祉の推進を図る。また設置施設は、災害発生時の指定避難所となっており、避難所設置時には災害情報の伝達などコロナ禍での運営体制強化を図る ② 【三世代交流室】 ワイヤレスハンドマイク3本、ワイヤレスピンマイク1個、受信機1台、チューナーユニット、ワイヤレスアンテナ2台、設置費・調整費・諸経費(一式) 【研修室】 ワイヤレスハンドマイク3本、ワイヤレスピンマイク1個、設置費・調整費・諸経費(一式) ③総合保健福祉センターリふれ	R3.6.29	R3.10.8	1,082,400	1,082,400	□アンケート □聞き取り調査 () ■その他の方法 (利用者数)	放送設備の整備により、三世代交流室や研修室使用に際し、参加者同士の適切なソーシャルディスタンスを保つことが可能となり、感染リスクの低減を図ることができ、施設内でのクラスターも発生することなく、適正な館運営と各種事業を開催することで保健福祉の推進が図られた。三世代交流室では、R2.1以降のコロナ禍における利用者月平均は1,398人であったが、R3.10放送設備導入後は1,486人となった。研修室でも、R2.1以降のコロナ禍における利用者月平均は389人であったが、R3.10放送設備導入後は473人となり、利用者数も回復基調が続いている。	館内(三世代交流室及び研修室)での感染者はなく、通常どおりの館運営が出来たため、事業実施効果があった。
3	新生児等特別定額給付金事業	子ども育成課	①新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、昨年総務省で実施した定額給付金で対象外となった令和2年4月28日生まれの以降の新生児に対し、特別定額給付金を実施したものを今年度も継続する ②③対象新生児R3.4.1～R4.4.1 100千円給付ほか郵便料等	R3.7.1	R4.3.31	5,159,827	5,159,827	□アンケート □聞き取り調査 () ■その他の方法 (支給率)	支給率100%	新生児が支給対象であり、出生手続きの際に窓口で案内することができた。また、漏れのないように定期的に税務住民課から情報を確認した。
4	町内保育園環境整備事業	子ども育成課	①新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、遊戯室等での活動や保育士による園内会議において園児等ソーシャルディスタンスを保ちながら無線機器による活動を行うため放送設備を整備し、終息が見えない中で新しい生活様式での保育所運営を実施し、感染予防に努め及び保育士の確保に努める。 また、大規模な災害等の場合には、隣接する福祉避難所や指定避難所の指揮命令系統を行う施設としても活用し、災害情報の周知や運営の進行をスムーズに行う。 ②③ 町内保育園放送設備設置経費	R3.7.26	R3.10.8	613,800	613,800	□アンケート ■聞き取り調査 (使用保育園) □その他の方法 ()	休園日数24日(R3年度)	本事業により、遊戯室等での活動や園内会議を大声を出さず、ソーシャルディスタンスを保ちながら行うことで感染対策ができた。
5	プレミアム商品券発行事業費補助金	産業振興課	①収束後の経済対策として、商工会が発行するプレミアム付き商品券の発行に係る経費を補助し、地域経済の活性化を図る ② i プレミアム相当である40%分補助 ii 商品券発行に係る経費(臨時職員1名を6か月間雇用する人件費含む) iii 飲食店クーポン券1,000円/冊 ③長沼町商工会	R3.10.4	R4.3.18	44,668,814	38,151,886	□アンケート ■聞き取り調査 (商工会) □その他の方法 ()	昨年同様、飲食店クーポンがあったので、それをきっかけに飲食店への来店客が増えた店が多くあった。 ・利用事業所数120件(うち飲食店42件) ・商品券利用割合:99.8% ・クーポン券利用割合:96.9%	総額約1億円の流通があり、売上げが減少した町内商店や飲食店への支援に大いに効果があった。 昨年の事業の検証結果から、予約販売とし、追加販売は行わなかった。 昨年度と同程度のお金の流れ(昨年は総額1億7千万円の流通あり)を作るためには、販売の仕方等工夫が必要だった。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業の実施状況及び効果検証について

No	交付対象事業の名称	所管課	事業実施状況				効果検証			
			事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	総事業費 (円)	交付金 充当額 (円)	効果の測定方法	事業の効果（成果）	効果の検証結果（評価）
6	平和通街路灯管理組合支援事業	産業振興課	①飲食店の減収等が余儀なくされ、組合費の負担が難しくなっているなどの影響があることから、街路灯維持管理に係る経費を助成し、飲食店への誘客を図る ②組合費10千円、組合費3千円 ③長沼町平和通街路灯管理組合	R3.7.13	R3.7.30	347,000	347,000	<input type="checkbox"/> アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 聞き取り調査（組合員） <input type="checkbox"/> その他の方法（ ）	コロナの影響により組合費を負担することにより街路灯の維持管理に充てられ、組合員の負担軽減につながった。	事業継続に結び付けられる事業であった。
7	交通事業者支援事業	産業振興課	①町民の生活及び観光に必要な交通の維持及び確保や、今後の観光受入環境整備を図るため、町内に本社のある交通事業者に対し支援を行う ② i ハイヤー：R3.4月からR4.3月までの運行日数・運行時間の延長に係る人件費の2/3補助 ii 観光バス：一律300千円×所有バス台数 ③町内に本社のある交通事業者	R3.8.18	R4.3.31	5,873,019	5,647,666	<input type="checkbox"/> アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 聞き取り調査（事業者） <input type="checkbox"/> その他の方法（ ）	交通事業者は、コロナ禍における利用者の減少等の影響を受け、経営が悪化している。引き続き、交通事業者の支援を講じる必要がある。	事業継続に結び付けられる事業であった。
8	中小企業等応援給付事業	産業振興課	①R3.1月～R3.6月及びR3.7月～R3.10月において、1か月の売上減少率が20%以上の事業者に対し、従業員数に応じ各期間で最大45万円を支援する ②③ i 従業員10人以下 15万円 ii 従業員11～20人 30万円 iii 従業員21人以上 45万円 ほか郵便料 26千円	R3.6.16	R4.3.31	44,446,998	43,846,767	<input type="checkbox"/> アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 聞き取り調査（商工会） <input type="checkbox"/> その他の方法（ ）	コロナで売上が減っており、支援金をいただけてよかったとの声が多くあった。	事業継続に結び付けられる事業であった。
9	グリーン・ツーリズム運営協議会支援事業	産業振興課	①受入キャンセルに伴い、受入農家からの負担金収入がないため、運営協議会に対し支援金を給付する ② i 農家民泊(1泊)8,800円×8% ii 農家民泊(2泊)18,260円×8% iii 農業体験(日帰り)1,650円×8% 上限900,000円 ③長沼町グリーン・ツーリズム運営協議会	R3.9.15	R3.12.20	900,000	900,000	<input type="checkbox"/> アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 聞き取り調査（グリーン・ツーリズム運営協議会） <input type="checkbox"/> その他の方法（ ）	「2年続けて事業収入が全く無かった中で、昨年同様、支援金を人件費、事務費等に充てることができ協議会を維持することができた」という声があった。	2年間、全く事業収入が無かったが、人件費やある程度の事務費はかかっており、今後も協議会を維持していくための支援として効果があった
10	地域商業ウイズコロナ対策支援事業	産業振興課	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、料飲店組合等が実施する感染拡大防止に配慮した販売促進活動等の取組に対して支援する ②③ 料飲店組合等が行う飲食店マップ(中心地店分・郊外店分)作成にかかる経費を助成する	R3.7.5	R3.12.10	383,618	383,618	<input type="checkbox"/> アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 聞き取り調査（組合等） <input type="checkbox"/> その他の方法（ ）	町内飲食事業者を支援するとともに、飲食店の利用を促進し、感染拡大防止に配慮する。	感染対策が取れた町内の飲食店を安心して利用する事で、飲食店の応援にもつながった。
11	大学生等生活支援金給付事業	学校教育課	①新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、経済的な影響を受けている大学生等の「学びの継続」を支援することを目的に、生活支援金を給付する ②③ 保護者若しくは大学生等が長沼町に住所を有しており、大学院、大学、短期大、専門学校、高等専門学校に在学している方(通信制課程及び高等専門学校1年生から3年生は除く) 町外6万円、町内3万円	R3.6.16	R4.2.10	6,840,000	6,840,000	<input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> 聞き取り調査（ ） <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（支給率）	申請者170名に対して給付実績は168名(町内108名、町外60名)で、支給率は98.8%となった。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、経済的な影響を受けている大学生等の「学びの継続」を支援することを目的に、生活支援金を給付することができた。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業の実施状況及び効果検証について

No	交付対象事業の名称	所管課	事業実施状況				効果検証			
			事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	総事業費 (円)	交付金 充当額 (円)	効果の測定方法	事業の効果（成果）	効果の検証結果（評価）
12	がんばる高校生等応援給付金給付事業	学校教育課	①新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、経済的な影響を受けている高校生等のうち、長沼町奨学振興会が行う育英事業の該当者に対し「学びの応援」のための生活支援金を給付する ②③ 長沼町奨学振興会の育英事業該当者 給付金5万円	R3.6.16	R4.1.20	450,000	450,000	□アンケート □聞き取り調査 () ■その他の方法 (支給率)	申請者9名に対して給付実績は9名で、支給率は100%となった。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、経済的な影響を受けている高校生等のうち、長沼町奨学振興会が行う育英事業の該当者に対し「学びの応援」のための給付することができた。
13	町内小中学校学習環境整備事業	学校教育課	①町内小中学校でICTを活用した教職員研修や講堂等で行う授業時に必要な高解像度プロジェクターを整備することで、感染リスクの低減及び学習環境の維持向上を図る ②授業及び研修用プロジェクター(小中学校1台ずつ) ③町内小中学校	R3.7.2	R3.8.25	424,160	424,160	□アンケート ■聞き取り調査 (小中学校長への聞き取り) □その他の方法 ()	コロナウィルス感染拡大防止に効果があった。	コロナウィルス感染拡大防止に寄与したと考えられる。
14										
15	町内小中学校学習環境整備事業	学校教育課	①休校時に遠隔授業を実施できるよう大型モニターを購入し、学習環境の整備を図る ②【長小】テレビ5台(音楽室、理科室、家庭科室、活動室、児童会室) 【長中】テレビ6台(理科室、体育館、被服室、音楽室、技術室、美術室) ③町内小中学校	R3.7.2	R3.8.19	2,395,800	2,395,800	□アンケート ■聞き取り調査 (小中学校長への聞き取り) □その他の方法 ()	臨時休校に伴う家庭学習及び遠隔授業を実施することができた。	臨時休校に伴う家庭学習及び遠隔授業を実施することができた。
16	町内小中学校学習環境整備事業	学校教育課	①臨時休校等における家庭学習や遠隔授業で活用するデジタル教材や教育用ソフトウェアを導入し、学習機会の確保及びコロナ禍で低下が懸念される学習意欲の維持向上を図る ②【長小】小学1～2年生142人 スクールタクト、キュビナ ③町内小学校	R3.6.17	R3.8.20	1,363,626	1,363,626	□アンケート ■聞き取り調査 (小中学校長への聞き取り) □その他の方法 ()	臨時休校に伴う家庭学習及び遠隔授業を実施することができた。 また、遠隔授業や大型モニターを活用した授業が主流となっていく中、デジタル教材や教育用ソフトウェアを活用できた。	臨時休校に伴う家庭学習及び遠隔授業を実施することができた。 教職員の教材制作の時間短縮となり、子供たちと向き合う時間の確保できた。
17	スポーツセンター環境整備事業	社会教育課	①新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、スポーツセンターの放送設備を整備することで、社会体育活動における感染リスク低減を図る。また、災害時における避難所運営においても無線機器を活用し、災害情報の周知や避難所運営の進行をスムーズに行う ②放送設備設置経費 ③スポーツセンター	R3.6.28	R3.7.20	686,840	686,840	□アンケート □聞き取り調査 () ■その他の方法 (施設利用者の使用状況・運営実態)	スポーツセンターの放送設備の整備を行うことで、アリーナ内で大声を出すことがなくなり、飛沫感染防止に最大限の配慮を行った。	該当施設においてにコロナの発生がなく、各施設とも臨時閉鎖することなく運営できたことから、コロナ感染防止対策の一定の成果を挙げることができたと考える。
18	長沼町議会中継システム更新事業	議会事務局	①町議会開催時において、傍聴のため人が集まり密集する事を避けるため、スマートフォンやタブレット等の端末で高画質配信が可能な議場設備として更新する ②議場中継システム改修経費 ③議場配信システムの構築	R3.6.22	R3.11.26	16,830,000	16,830,000	□アンケート □聞き取り調査 () ■その他の方法 (閲覧人数)	R3.12月～R4.3月のYouTube閲覧人数537人 議場配信システムの構築によりYouTubeの配信が可能となり、議場に来なくても自宅で高音質、高画像の議事中継を見ることができるようになった。	高音質、高画像の議会中継により、来場者数を減らし、密になる環境を少なくして、コロナ感染症対策に取り組むことができた。
19	町立長沼病院事業会計繰出	町立長沼病院	(医療提供体制強化事業) ①感染症患者が発生した場合に備えて医療機器を整備することで、医療提供体制の強化を図る ②医療機器購入経費。町立長沼病院事業会計に繰出し、医療機器購入に要する費用を対象(医療用吸引ポンプ更新事業1台) ③町立長沼病院	R3.7.1	R3.9.10	3,938,000	3,938,000	□アンケート □聞き取り調査 () ■その他の方法 (使用実績)	医療用吸引ポンプを更新することで、入院患者との接触時間が大幅に短縮し、感染リスクの低減が図られた。	院内でのクラスター等の発生はなく、通常どおりの病院運営が出来たため、事業実施効果はあった。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業の実施状況及び効果検証について

No	交付対象事業の名称	所管課	事業実施状況				効果検証			
			事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	総事業費 (円)	交付金 充当額 (円)	効果の測定方法	事業の効果（成果）	効果の検証結果（評価）
20	町立長沼病院事業会計繰出	町立長沼病院	(院内トイレ改修事業) ①外来・検査対応時の衛生環境を強化し、感染リスク低減を図るとともに、安全安心な医療提供体制を整備する ②院内トイレ改修費用。町立長沼病院事業会計に繰出し、非接触型自動水栓設置費用を対象(4台) ③町立長沼病院	R3.6.30	R3.9.10	880,000	880,000	<input type="checkbox"/> アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 聞き取り調査 (医療従事者・外来患者) <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法 (使用実績)	新型コロナウイルス対策の非接触型自動水栓を5か所設置することで、院内でのクラスター等の発生もなく、適正な病院運営が出来た。	院内でのクラスター等の発生はなく、通常どおりの病院運営が出来たため、事業実施効果はあった。
21 22	町立長沼病院事業会計繰出	町立長沼病院	(院内感染防止対策事業) ①発熱外来用の玄関にスロープ及び手すりを設置し、身体的負担を軽減するとともに、患者受診時の動線をより明確にすることで、一層の感染リスク低減を図る ②発熱外来対応設備強化費用。町立長沼病院事業会計に繰出し、スロープ等設置費用を対象(工事一式) ③町立長沼病院	R3.12.23	R4.1.31	1,507,000	1,507,000	<input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> 聞き取り調査 () <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法 (使用実績)	新型コロナウイルス対策のため、発熱外来の入口にスロープと手すりを設置することで、足の不自由な方等でもスムーズに院内に入ることができるようになり、介助する医療職員等との接触時間が短縮が図られ、結果として院内でのクラスター等の発生もなく、適正な病院運営が出来た。	院内でのクラスター等の発生はなく、通常どおりの病院運営が出来たため、事業実施効果はあった。
23	ながめま温泉・道の駅支援事業	産業振興課	①新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少し、施設の管理運営に影響を及ぼしている指定管理施設について、持続的な経営ができるよう支援金を交付する ②ながめま温泉支援金～3年平均売上額に対する減収×2/3 ③ながめま温泉指定管理者	R3.12.30	R4.1.20	11,000,000	11,000,000	<input type="checkbox"/> アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 聞き取り調査 (温泉) <input type="checkbox"/> その他の方法 ()	運営が厳しい状況にあり支援を受けられたので良かった。	事業継続に結び付けられる事業であった。
24	南空知消防組合長沼支署 新型コロナウイルス感染症対策事業	南空知消防組合長沼支署	①消火活動時に使用する空気呼吸器について、現在、消防隊員が共有で使用しているため、追加で空気呼吸器等を整備し、消防活動時の感染リスク低減を図る ②空気呼吸器5基、面体10枚 ③南空知消防組合長沼支署	R4.2.25	R4.3.10	3,258,000	3,258,000	<input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> 聞き取り調査 () <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法 (配布率)	空気呼吸器5基、面体10枚の配布希望について同数の個数を配布(100%配布)	消火活動時に使用する空気呼吸器及び面体を活動隊員数確保出来た為、感染リスクの低減を図ることが出来た。
25	学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①感染リスク低減のために必要な備品等を整備し、児童生徒の教育活動の継続を図る ②ハンドソープ15個、パネルパーテーション70個、非接触体温計1台、スプレー容器100個 ③小中学校	R3.5.17	R3.10.22	251,376	125,000	<input type="checkbox"/> アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 聞き取り調査 (小中学校長への聞き取り) <input type="checkbox"/> その他の方法 ()	コロナウィルス感染拡大防止に効果があった。	コロナウィルス感染拡大防止に寄与したと考えられる。
26	学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	(学校等における感染症対策支援事業) ①学校における感染症対策に必要な物品の購入、及び感染状況に応じた教育活動の実施に必要な教材等の購入 ②CO2モニター15台、デジタルビデオカメラ2台、モバイルバッテリー30台、サーマルカメラ2台、サーキュレーター20台、大型テレビ8台、ハンドソープ50個 ③小中学校	R4.3.1	R4.3.29	2,250,647	1,125,000	<input type="checkbox"/> アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 聞き取り調査 (小中学校長への聞き取り) <input type="checkbox"/> その他の方法 ()	コロナウィルス感染拡大防止に効果があった。	コロナウィルス感染拡大防止に寄与したと考えられる。

(備考)Noは内閣府へ提出した実施計画の番号

155,814,535 147,220,000